

アフィリエイトで7年間生活する夫婦の常識破りの日常【自由ですが何か？ vol.1】



動画 URL : <https://youtu.be/3SpPxZLGcxg>

目次

カフェで雑談している間に7万円稼ぐ20歳との衝撃的な出会い(00:00)	
.....	3
ともしん夫妻のライフスタイル(02:10)	4
ルナのライフスタイル(08:58)	9
ともしんネットビジネス成功前夜(11:50)	10
稼げるようになったターニングポイント(20:25)	16

アフィリエイトを始めた夫を見て(27:00)	20
アフィリエイトで生きていく不安はないのか(38:45)	27
もっと稼ぎたくはないのか？(44:00)	30
周りとの温度差を感じるか？(50:22)	33
パートナーが起業してよかった事(53:50)	35
常識が正しいとは限らない(56:05)	36
アフィリエイトを知っている事の可能性(1:06:00)	43

カフェで雑談している間に 7 万円稼ぐ 20 歳との衝

撃的な出会い(00:00)

だいぽん：こんにちは、だいぽんです。今日は友人のともしんさんと、奥さんであるルナさんをお呼びして、対談を撮っていきたいと思います。ルナちゃんは顔出しが NG なので、今回は声だけの参加でやっていきたいと思います。ということで、二人ともよろしくお願いします。

ともしん、ルナ：お願いします。

だいぽん：まあ友人なんで、気軽にやっていくんだけど。ともしんさんとルナちゃんは、僕がネットビジネスを始めた最初の頃に仲良くなった二人なんだよね。

ともしん、ルナ：そうですね。

だいぽん：6、7 年前かな。かなり長い付き合い。

ともしん、ルナ：長いですねえ。

だいぽん：初めて会ったのは、セミナー準備をした時。共同で一回アフィリエイトのセミナーをやったんだけど。その打ち合わせで会おうって、兵庫に行ったら、二人が迎えに来てくれて。

ともしん：そうですね、地元。

だいぽん：そしたら夫婦で来て、異様に若い。当時何歳？

ともしん：20 か 21 ですね。

だいぽん：俺も23くらいで。皆でレストランへ行って、ご飯を食べて打ち合わせをして。当時アフィリエイトでもう結構稼いでいたんだよね？

ともしん：そうですね。

だいぽん：この時、衝撃を受けたことがあって。ご飯を食べて、打ち合わせをして、雑談をして。美味しかったね、さあ店出ようかって時に、ともしんさんがぱっと携帯を取り出して、何か調べたと思ったら、「あ、今日7万売れていますわ」みたいな（笑）

ともしん：その日はそうでしたね。なんもしてないけど。7万円ぐらい。

だいぽん：で、すごいなこの人っていう。（笑）

ともしん、ルナ：あはは（笑）

ともしん：でも、だいぽんさんもあの日、6万ぐらいでしたっけ？

だいぽん：6万ぐらいだったね。

ともしん：その日だけ考えたら僕が勝ってますけどね。そんな感じでした。

だいぽん：はは（笑）そういう感じでしたね。

ともしん夫妻のライフスタイル(02:10)

だいぽん：二人は、ずっとネットビジネスで食べているんだよね？

ともしん：そうですね。一度もピンチになることなく、何か他のことをしなきゃということもなく、ずっとアフィリエイトですね。

だいぽん：20 歳ぐらいから……今は 27？

ともしん：今 27、28 ですね。

だいぽん：今まで、ずっと夫婦揃ってアフィリエイトで食べている。

ともしん：そうですね、だから、一度も勤めたことがないですね。

だいぽん：具体的にどんなふうにお金を稼いでるの？

ともしん：最近は、ほとんど稼ぐ流れみたいなのができてるんで、最低限生きていくための金額を稼ぐのであれば、月に 2、3 通メールマガジンを書いて、それで終わりですね。

だいぽん：月に 2、3 通。時間的にはどのくらい？

ともしん：もう流れが決まってるんで、メールマガジンのネタも決まってる。だから、全部合わせても 1、2 時間ですね。

だいぽん：1、2 時間（笑）全部合わせて？ ってことは、月に 1、2 時間？

ともしん：そうですそうです！ 最低限生きるならですよ！ メールコピペして。もちろん、売れるように最初は考えますけど。こういう順番で話せば、自分がこれからオファーするものの魅力が一番伝わるだろうという流れが分かってるので。

だいぽん：もうそこは、蓄積された経験というか実績？

ともしん：あと過去のデータとか全部含めて。まあ 2、3 通書いてサービスオファーしたら……

だいぼん：どのくらい売れるんですか？

ともしん：まあ 30~50 万くらいの間で。それ以外にも、その時々で「ああこれいい商品だな」とかもあるので。その日その日でメルマガ書いたりしますが、それがまた追加で10万、20万とか。

だいぼん：月 1、2 時間働いたと。じゃあ、仕事以外の時間は何やってるの？

ともしん：仕事以外は、基本的に家でゴロゴロというか。朝 10 時頃まで寝てるんすかね？ で、朝起きたら YouTube 見て。YouTube 見てたら 12 時になるんで、飯食うじゃないっすか。僕、つけ麺好きなんすよ。つけ麺好きだから、ルナと一緒に車乗って、ちょっと遠い所。1、2 時間かけてつけ麺食べに行っって。

だいぼん：最近、車買ったって言ってましたね。

ともしん：そうですね。車買って、ドライブがてらつけ麺食いに行っって。帰ってきたら 2、3 時なんで、眠くなりますから、基本的に（笑）

だいぼん：ご飯を食べたら、眠くなりますね（笑）

ともしん：基本的に人間はそうできてますからね！（笑）そうなると、3、4 時から 1~2 時間寝る。5、6 時になったら YouTube 動画見てみたりしてね。なんかおもしろいもんあるなみたいな。そしたら 7、8 時になるんで。

だいぼん：なりますね（笑）

ともしん：僕、音楽してるから、ギター弾いてみたりとかね。それ以外にも、もちろんメルマガ送って、コンサルもしてるんでサポートしたり。さっき言ったように、毎日毎日朝から晩までサポートするってわけじゃないんで。たまに 1 時間くらいサポートしたり。それぐらいの話。で、日常が終わる。そういうことしなくて、何もしてない時もあるし。

だいぽん：8時まで動画みて、楽器やって、寝るって感じ？

ともしん：また寝るって感じ（笑）

ルナ：最近は、筋トレとかもやってる！

ともしん：ああ！筋トレ！

ルナ：筋トレ、作曲、あとイベントがあったらイベントへ出向いたり。ライブ行ったり。あとは、だいぽんさんと遊んだり。

だいぽん：そうだね、遊んだりするね。趣味に生きてるって感じだよな？

ともしん、ルナ：そうですね。

だいぽん：趣味とか、のんびりして生きてる。僕もそこはウマが合う所で。僕もあんまりガツガツというよりは、趣味に生きるみたいな。

ともしん：起業家の人で、〇〇しなければならない！みたいな自分の野心？目的？こうなるんだ！って人いるじゃないですか？そういう人たちの反対。

だいぽん：起業家って怖いよね？

ともしん：怖い！？（笑）

だいぽん：俺めちゃくちゃ怖かったんだけど。ビジネスの世界に入るまで、社長ってすごい偉そうっていうか、すごい厳しそうじゃない？

ともしん：はいはい。

ルナ：ああ。

だいぽん：テレビとかで、綺麗事じゃないけど、すごく正しいことをがーって喋って、社員叱ったり、道を指し示すわけじゃん、たくさんの社員に。だからなんかすげーなって。THE リーダーだと思ってて。そうしないと社長や起業家にはなれないもんだと思ってたんだけど……実際は全然違ったというか。

ともしん：全然違いますね。全然違うというか、もちろんそういう人もいるけど、そうじゃなくても生きていけるっていう。

だいぽん：2 タイプあるんだなって思ったかな。特に今の時代だけだね。昔だったら人雇って組織化して、ついてこさせるのが当たり前だから。そうしないと起業なんてできなかつたし、それが必須だったんだろうけど。今は、僕らみたいにネットでやっていたら社員なんかいらぬ。

ともしん：そうですね。社員の代わりにブログとかが集客してくれて。

だいぽん：お店の代わりにブログだもんね。

ともしん：売りたい時にメール一通送りゃ、何千、何万人が、

だいぽん：読んでくれて。僕らみたいな変なのが出てきたと（笑）

ともしん：何の志もない、ただ今を楽しく生きられればいい起業家たちがね（笑）

だいぽん：（笑）自分が幸せになるため。

ともしん：そうそう。

だいぽん：自分がやりたいことやるために、手段として起業をする人が増えてるってことだよな。

ともしん：ですね。

ルナのライフスタイル(08:58)

だいぽん：ルナちゃんはどういう感じなの？ ともしんさんが YouTube 動画見てるわけじゃん？ 一緒に見てるの？

ルナ：私は、今(アフィリエイトの)マニュアル作ってて。その仕事をしてない時は、カメラが好きなので、綺麗な景色撮れるようなところを調査して、彼にお願いしてここに行ってくれとか。あとは、歌がすごい好きなので。ライブ見に行ったり、友達のライブ見に行ったり、ギターの実習もするし。動物も好きなので、動物を観察したりとか。関西に友達が多いので、(関西へ行って)遊んだり。そんな感じですかね。

だいぽん：ルナちゃんもアフィリエイトをやってるんだよね？

ルナ：そうですね。昔は家庭環境が酷かったので、鬱になったりして。でも、彼がアフィリエイトで稼いだお金をめちゃかけてくれて。カウンセリング費用とかで結構お金かかったんですけど、おかげで元気になることができて。最初は彼のサポートみたいなことをやって、サイト作ったりしてたんですけど。最近は、サイトアフィリエイトという手法しながら、報酬が上がってきたので、メルマガブログを始めよう！ってなって。メルマガブログとマニュアル販売って感じですね。

だいぽん：情報発信して収益を得てるってこと？

ルナ：そうですね。

だいぽん：二人でそういう(自由な)生活を 7 年。僕も、相当働かない方で。ほとんど自動化しちゃったから、あんますることなくて自由にやりたいことやってるけど。僕に負けないぐらいの自由度の高い日常送ってるよね。

ともしん：時間的に言えばそうですね。

だいぼん：だからお互い暇でよく遊んでるんだけど。夫婦揃ってそういう生活してる人ってあんまりいないし面白いから。今回紹介してみようかなって。

ともしん ネットビジネス成功前夜 (11:50)

だいぼん：ネットビジネス、アフィリエイトを始める前は、どういうことをしていたの？

ともしん：美容師さんになろうと思って。

だいぼん：ともしんさんが？

ともしん：うん。美容師の学校行きながら美容室のバイトやってたんすけど、その頃に、ちょうどルナが病気になってしまって。朝から晩まで美容院で働いてたんすけど、今のままではルナをサポートできないと思って。

だいぼん：美容師は忙しいからね。

ともしん：うん。仕事終わった後も練習がめちゃくちゃあって。深夜の 1、2 時くらいまでやるんで。朝 7、8 時に行って、帰るの 1 時とかですからね。どう考えてもサポートできないと思ったんで。それに、自分自身もこんだけ忙しいとやっていけないというか、自分自身も病気になりそうだったから、辞めて。でも、その時はまったくアフィリエイトを知らなくて。一応ネットカフェでバイトしながら、ギリギリの中でルナを介護しながら生きてた。

ルナ：そうそう。すぐに倒れちゃったり過呼吸になっちゃったりして、いつ死んでしまうか分からない状態だったので。ネットカフェが一番融通が効きやすいつてことで、彼がネットカフェに行ってくれて。

ともしん：そこの店長「ちょっと彼女が倒れたんで帰ります！」言うたら、「あ、そう！ 帰りー！」みたいな感じだったんすよ。「また元気になったら来んかー！」ってね。すげーありがたいなと思って。それでネットカフェでバイトして。そこで、自分よりちょうど2、3歳上の、どこにでもいるギャル男みたいな大学生の人が「俺、年収一億くらいになりたいねん」って。

だいぼん：ギャル男が？（笑）

ともしん：ギャル男が（笑）こいつなに言ったんってその時は思ったんすけど。「そんなん無理でしょ、僕らみたいな普通の人間が年収一億とか無理ですってってゆったら、

だいぼん：まあ無理ですよ、ってなりますよね。

ともしん：月800万以上ですよ、ならないといけないと。ありえるわけがないじゃないですかって喋ってたら、いや俺いま月百万ぐらいは稼いどるから、800万いけると思うねんって。ええー！みたいな。100万！？何して稼いでるんすか、って言ったら、アフィリエイトっていうのがあって、携帯のサイト色々作っとったら100万なっとってんって。

だいぼん：なんでその人ネカフェにいるん？

ともしん：だからね、僕も思ったんですよ！なんでネカフェで働いとるんすか？って聞いたら、アフィリエイトって家で仕事するから、ずっとおったら気分病むやん？って

全員：あはは（笑）

ともしん：運動がてらみたいなバイトしとんねん、って感じだったんすよ。ほんとそこまで僕パソコン触ったことなく、でもその人が僕だけに、他の人にあんまり言ってなかったみたいで、実はこういうことやとんねんってゆって

くれて。今考えると、ASP っていうんすかね、アフィリエイトサービスプロバイダー。管理画面見してくれて、ほらこれ、今月これぐらいって。百何十万とかあるんすよ。なんじゃこりゃみたいなの。

だいぽん：そりゃびびるわな。

ともしん：そんで詳しく聞くと、アフィリエイトっていうものであって、自宅できるし、しかも仕組みが構築できればほったらかしでも稼ぐことができる。鬱陶しい上司もいないし、満員電車に乗ったりしてどっか通うこともないし。ってなると、妻が病気だったから、なんか家で稼げる方法ないかなってなった時に、そのアフィリエイトのこと知って、実際に目の前に 100 万稼ぐ人がいたから、この人が稼げるなら俺も絶対稼げると思ったから、挑戦しますってゆって。パソコンないからパソコン買ってください、みたいなの。

だいぽん：そっからか（笑）

ともしん：そんで、その人のパソコンを調達してもらって。当時ね、3 万くらいのね、

だいぽん：当時の 3 万って結構、

ともしん：当時の 3 万ってだいふ、

だいぽん：7 年前くらいの。

ともしん：でもね、僕からしたらそれでもパソコン使ったことないから、初めてのパソコンで、

だいぽん：じゃあほとんどノースキルから始めたってこと？

ともしん：そそそそ。電源とかつけ方わかんないから、基本的に（笑）

だいぽん、ルナ：あははは（笑）

ともしん：一応ね、小学校、中学校でパソコンの授業ありましたけど、僕家にパソコンないから、こんなところで覚えたところで何の価値もないと思ってたんすよ。

だいぽん：そりゃそうだ。

ともしん：だから全く聞かなくて。ほんまにパソコンのスキルなかったっすね。そこからですよ。

だいぽん：で、すぐわりと稼げたの？

ともしん：いや、全く稼げない！

だいぽん：全くかい（笑）

ともしん：最初の1年はね、全く稼げなかったっすね。累計で最初の1年で10万以下ですよ。

だいぽん：どうゆうのやってたんすか？

ともしん：その人がやってたのは携帯のサイトを作って、着メロとか着うたとか、1件登録されたら2,300円とか。

だいぽん：あるねー。

ともしん：そういう系のことを、うまいことアクセス集めて、100万ぐらい稼いでたんで、同じことやってて。でもそんな時でも、もう古くなっちゃってたかわかんないですけど、今やったところで稼げなくて。最初の1、2ヶ月は全くゼロ円で、3ヶ月目くらいに50円稼げて。

だいぽん：ふふふ（笑）すごいね、むしろさ、普通さ、稼げるかもって始めて、3ヶ月ほぼ無収入だったら、ほぼやめると思うんだよね？

ともしん：まあこれは幸か不幸か、結果的にいまは幸いなんですけど、（ルナが）病気だったから、これしか選択肢がないんですよ、僕が人生変えるには。だから運良く諦められなかったというか。

だいぽん：諦める選択肢がそもそも、

ともしん：うん、なかった。もうこれで稼ぐしかしょうがない。なおかつ目の前で稼いでる人がいるから、この人にできるなら俺にできると。

だいぽん：（笑）

ともしん：でも3ヶ月やって50円。4、5ヶ月目でも、まあ1000、2000円とかですよ。そのあと、ちょっとずつ2、3万とか稼げましたけど、ゆうても1年で累計10万ぐらいですから。

だいぽん：全く食っていけない？

ともしん：全く食っていけない。1日ね、ルナを介護して、バイトして、その後にアフィリエイトのサイトしてましたから。で、もうルナが、起きてる時はずっと不安や不安やゆうてますから、

ルナ：ふふ（笑）

ともしん：そんな時は病気だったからね（笑）全くね、起きてたら作業できないんですよ。不安や不安や一ゆうて、泣いて、泣き疲れて寝た後に僕作業始まるから、

だいぽん：すごいよね。

ともしん：3時間ぐらい。

だいぽん：そんな状況で継続、まあせざるをえなかったってのもあるけど、

ともしん：せざるをえなかった。

だいぽん：すごい環境だよ。

ともしん：だから3-4時間1日でやってて、1年で10万ですから、ほんと時給100円も満たないと思うんですよね。それぐらいの状況でした、最初は。

だいぽん：どういうところでブレイクスルーがあったの？

ルナ：最初はマニュアルもなかったもんね。

ともしん：そうそう。

ルナ：マニュアルなしで独学でやってたからってのもあって。

ともしん：その稼げる人に、大まかな流れは聞きましたけど、だいたい自分で独学でやってたから。これは何かマニュアルというか、何か参考にしないと、このままじゃラチがあかないと。

だいぽん：独学我流じゃラチがあかんと。

ともしん：全くラチがあかないと思って、1年後ぐらいに、情報商材ですよ、今売ってるようなもの。めちゃめちゃ怪しいと思いましたけど、2、3万で買って、もしこれが嘘でも、万が一ちょっとでも何か可能性があるんだったら、本物だったらっていうので。ドブに捨てるような覚悟でね、買ってみたら、まあまあ良い商材で、それを実践し始めて。それでもね、数ヶ月は全く稼げなくて、それから半年ぐらいですかね、マニュアル買って。1年半ぐらいは稼げなかったっすね。

だいぼん：結構下積み時代というか、苦しい時代長かったんだ、

ともしん：だいぶ長かったっすね。

稼げるようになったターニングポイント (20:25)

だいぼん：じゃあ稼げるようになったと。それは一気に結構な金額いったって感じ？

ともしん：いや、最初ね、4、5万稼いで。

だいぼん：月？

ともしん：月。それで、広告費をかければその分だけどんどん増えていくやり方だったんで、1、2万広告費かけて4、5万(の売上)だったから。それこそ、広告費を10万20万にすれば、4、50万になるんじゃないか、それで利益として2、30万になるんじゃないかと。最初の段階、5万円くらいの利益を、また最初の広告費にまわして、

だいぼん：全額？

ともしん：そそそ。5万円を10万円にして、10万円を次の広告費にして20万、で20万をまた次の広告費で40、50万って形だったんで。だから一気にというよりは、1年独学、そのあと半年間稼げなくて、その後から5万くらい稼ぎ始めて広告費に、

だいぼん：再投資再投資で雪だるま式になって感じ。

ともしん：だからそう考えると、最初から2年くらいっすかね。2年くらいかけ

て、生活できるレベルになりましたね。

だいぼん：僕と会った時は、どんくらいだったっけ？

月。ともしん：5、60万。

だいぼん：ああ、そうだったっけ？

ともしん：だったかな。その後、だいぼんさんと色々情報交換して、こっちの方がもっともっと良くなるんじゃない？とかアドバイスとかしてもらって、

100万とか200万とか。すぐなったんすよ。

だいぼん：俺とセミナーやった時、もう200万くらいあったの？

ともしん：そんな時にはなりましたね。最初ね、その2、3ヶ月くらい前に、だいぼんさんと始めて顔合わせる時があって、その時は6、70万くらいだったんですよ。

だいぼん：打ち合わせをしている頃だよ

ともしん：そうそう。情報共有したりとかして、セミナーしようかみたいな話になって、もうちょっと額稼ぎたいなと思って。それこそ広告費があれば稼げる話ですから、親にちょっと50万くらい貸してよみたいな感じのことゆって、

広告費を100万くらいにしたんすよ。そしたら、売上が200万になって、利益

100万くらいになって。

だいぼん：なるほどね。僕もそうだったけど、徹底したんだよね。投資を。僕も最初はお金なかったから、2万とかしか口座にない状態から始めてるから。学生用のクレジットカードがあったから、上限、たしか20万くらいあったかな。20万くらいの上限のカードだったんだけど、もうこれしかないと思って。そのカードで広告バンバン使って、投資とかもして教材買ったりとかしてね。で、カードの支払日が来るじゃん？これ支払いで20万払っちゃったら、またお金な

くなっちゃうけど、本来払うはずの 20 万を広告費に回したら 40 万になるなって。

ともしん：そうですね。

だいぽん：これはカードの支払いしてる場合じゃねえって思って、そっちほっといて 20 万全部広告費に回して、また入ったお金全部回してみたいなことをや

ってたから、かなり早いスピードで 100 万 200 万いったってのがあって。代わりにカードはブラックになったっていう。(笑) 経歴があるんだけど。

ともしん：まあブラックになったから、逆に使わないような良い生活になれたわけですからね。投資したから。

だいぽん：成功してる人の話聞いてると、一時期全力で行って、、

ともしん：そうですね。

だいぽん：金に限らず、時間をとにかく起きてる時間を極力費やすみたい

な。ともしん：そんな時期はありましたね。

だいぽん：だから成功あるんだろうけど。じゃあ月収 100, 200 万いくようになったわけじゃん？当時まだ 21 歳とかでしょ？

ともしん：そうですね、21。

だいぽん：周りの友達はまだ就職してるって感じかな？

ともしん：そうですね。

だいぽん：どういう気持ちだったんですか？突然、その前 2 年間ぐらいあんま稼げない時期から、一気に 100, 200 万ってお金がどんって入ってくるわけじゃ

ん？普通はありえないわけじゃん、20歳とかで。

ともしん：そうですね。まだ稼げてない時に、友人とかと遊んでる時に、僕の中には絶対に稼がなきゃならないっていうゴールがあったから。周りのみんなにこれからどないすんの？って聞かれて、俺はアフィリエイトっていうやり方があるって、これで稼ぐんやってゆったら、ものすごい馬鹿にされたんですよ。

だいぽん：ははは（笑）

ともしん：お前みたいな、しかもパソコンほとんど触ったことない人間、アフィリエイト＝ネットを使うってことは、パソコンに詳しくないといけないみたいな常識あるじゃないですか？

だいぽん：そうだね。

ともしん：それは結局あんま関係ないんですけど、みんなそう思ってるから、僕大学も行ってないし、あんまり勉強も得意じゃなかったから。頭も良くない、なおかつパソコンも触れへん。お前みたいなのがどうやって稼げるねん、その方法でって。ものすごく馬鹿にされたんですよ。

だいぽん：ビジネスってね、普通頭もよくなきゃいけないようなイメージもあるしね。

ともしん：それでね、逆に馬鹿にされたから頑張ろうって気持ちになったんですよね。

だいぽん：見返してやろうみたいな？

ともしん：こいつらほんと覚えとけよって（笑）そういう気持ちがあって、馬鹿にされたのがあったから頑張れて。もちろんそれ以外も理由はありましたけど。それで稼げて、最初は馬鹿にされましたけど、その後は、ほらみたことか！どや、稼げたやろ！と。俺はちゃうねんみたいな。普通とちゃうねんって感

じでね。

だいぼん：嬉しかった？

ともしん：嬉しかった！絶対なるって思ってたものになれたみたいなの。

だいぼん：その結果ね、ルナちゃんに病院のお金を払えるようになって、良くなったと。ある意味救うことができたという形ではあるよね。

ルナ：あれがなかったら、多分あたし家庭環境がすごい複雑だったんで、彼が投資してカウンセリング行かせてくれてなかったら、もう、生きてないんじゃないかな、ってことも考えられるくらいだったので。本当に感謝してますし、アフィリエイトってすごい夢があるというか。

アフィリエイトを始めた夫を見て(27:00)

だいぼん：ルナちゃんは信じてたの？成功するって。

ルナ：あたしはですね、基本的にまず最初に、普通の家庭に生まれたわけじゃないから、普通がベースじゃないんですね。なので、普通の人があるようなことが、ベースラインにないんで、アフィリエイトがおかしいとかは、、

ともしん：安定した職につかないといけないとかな、、

ルナ：そう、安定した職に就かなきゃいけないとかっていう、そもそもの、、

だいぼん：まあ常識がないってゆう。常識が関係ないところでずっといたって感じ。

ルナ：常識って言われたら、あたし自身も常識を毎日のように突きつけられた

時、その常識はあたしにとって常識じゃないからって思ってた時に。すべて考えてみないとわからないことだなって思ったんですよ、起こることすべてが。父も自営してたのもあって、父が家で寝っ転がってるのに、今日仕事なんじゃないの？って聞いたら、いや若い衆に任せとるって言うので、あれ？これ一人一人の一時間の値段が違うんだなって幼い頃にちょっと思ったんですよ。

ともしん：お父さんは寝とるのに、自分が上やから稼げて、

ルナ：お父さんは寝てるのに、仕事先の方は働いてる。これはどういうことだ？って思ったのが、きっかけ。

だいぽん：たしかにすごいよね、そこでどういうことだって思わないじゃん。当たり前のこととして受け入れない？俺も大学ぐらいの頃までは、カラオケ屋とかでバイトしてたんだけど、めちゃくちゃ店長が社長に怒られてるんだよね。オーナーがおじいちゃんなんだけど、時々ふらっと店にやってきて、売上が悪いとか、店長をものすごい勢いでどやしつけるの。ばかやろー！って。下手すると店長、1時間くらいね、バイトとかもいる前で、ずっとすごい勢いで叱られ続けるっていう光景を見て。その社長何してるかっていうと、その後休憩室みたいなのがあるんだけど、社長専用の、そこに入って行って、ギター弾いてるんだよ。

ともしん、ルナ：えー！（笑）

だいぽん：ぼろんぼろんって音が聞こえてくるんだよ。でも毎日売上の入金だけは社長がやってたんだよ。毎日店閉めたら、その日の売上が銀行に持って行って、入金。以上。っていう。売上はほとんど社長が持って行って、店長めっちゃ薄給。っていう光景を見てたんだけど、そんなものなのかなって。あんま疑問を抱かなかったな、その時は。

ともしん：それはあるかもしれないですね。

ルナ：多分、子供らしい子供じゃなかったんですよ。大人にならなきゃなら

ないような環境だったんで、

だいぼん：結構聞いてるけど、大変だったって。

ルナ：そうですね。なので、大人の心情ってのをすごく読んでたりとか考えてたりとか。気が回らないと生きていけなかったんですね。なので、大人たちの表情とか、大人たちが考えることについていけなきゃいけなかったんで、多分それで鍛えられたというか。考えるしかなかった。安全に生きるために。考えることが癖になっていたのか。あと、普通に生活してる子が羨ましかったんですよ。

だいぼん：普通っていうと？

ルナ：普通にご飯が出てきて、普通に学校終わったら遊べる。そういう普通が羨ましくて。なんであたしは普通じゃなくてこういう環境なんだって考えてたから、

ともしん：まあ色々考えるようになったよね。

ルナ：うん、色々考えるようになって、お父さんのこともあったし、普通の人ができることを、普通のようにこなしていれば、その(普通の)結果しかないってある日思いだして。

だいぼん：ほおー。そうだね。

ルナ：お父さんのようにやれば、お父さんのような結果しかないし、普通に働いてるような環境だと、その人みたいになるんだろうし、と思った時に。

だいぼん：すべて原因があって、結果があると。

ルナ：どうにか普通に生きられなかった分、もっとエンジョイする方法はないのかって。

だいぼん：(笑) 人生をエンジョイする。取り戻す的な感じ？

ルナ：うん。

ともしん：だから俺がアフィリエイトでやるんやっていうても、普通の仕事をしてほしいっていう状況じゃなかった、思わなかったってことだよ
ね？

ルナ：だし、自分らしく生きるってことが、どれだけ大事かってことを、幼い頃に突きつけられたので、自分らしい生活がそれ(アフィリエイト)の中にあるならやってみるべきだし。って思った時に、反対する意味が見つからないっていうか。

だいぼん：結局そこで諦めて就職しても、所詮 20 歳そこそこで、大学出てるわけでもないし。普通に就職したら。

ともしん：手取り 10 何万。

だいぼん：激務みたいな仕事しかなかったらうから。

ともしん：そうですね。

だいぼん：そう考えると、アフィリエイトにかけてみたってどこかな？

ルナ：あたしが病気だったってこともあるけど、元々彼は自由な時間が欲しかったみたいだし、音楽も好きだったので。そういうこと考えると、収入が多い方が、彼自身のためにもいいだろうっていうのもあったし。

成功するまでに就職を考えたか？ (33:20)

だいぽん：アフィリエイトで結構稼げるようになって、それで食べていけるようになったと。一回も途中で就職しようと思ったことは？

ともしん：全くないっすよね。多分、普通の状況とはちやうから、今こういうこと考えれるのかもしれないけど、いま誰かに命令されて動けって言われたら、お前誰に口聞いとんねん！みたいな。

だいぽん：ははは（笑）

ともしん：時間を拘束されるとなると、なんで？みたいな。

だいぽん：なんでお前が命令するのって？

ともしん：なんでお前のために働かなあかんねん、みたいな感覚になってしまうんで。関西弁だからちょっと汚い言葉になっちゃうんですけど、なぜこの人に時間を拘束される必要性があるのかってことを考えると、絶対嫌なので。

だいぽん：本来ないもんね、必要性は。

ともしん：そうですね。

だいぽん：食べていけないから、拘束を受け入れているだけであって。本来、人間が人間に命令する権限なんて、誰もないしね。

ともしん：そうですね。

だいぽん：王様いるわけでもないし。だからみんな対等なんだけど、稼げないから上下ができて、拘束されてっていう。

ともしん：お金がないからね、理不尽なこと言われても、すいませんって言わなきゃいけないし。そこはやっぱり耐えられないですよ。アフィリエイトで稼ぎはじめて 30、40 万くらいの利益が出始めた時に、バイトしつつ稼いでるっ

ていう時期があったんすよ。そんな時に、稼げる数ヶ月前は、「ありがとうございました」とかってゆってて、小銭とか投げられたとしても、「ありがとうございました」とかなってたんすけど。(笑)

だいぽん：あははは (笑)

ともしん：やっぱ稼げるとね、なんで俺に小銭ほうったんだらうって思うんすよ。思い始めて、ああ、こりゃ辞めないかんって。俺はこんなことするために生きてるんじゃない、みたいになって。僕バイトやめますって。

だいぽん：で、独立しよう？

ともしん：うん

ルナ：理不尽なお客さんに対して耐えれなくなったってことですよ。

だいぽん：たしかにあるね。俺も(アルバイトと)並行してた時期もあるから、稼ぎ始めた頃って、何か別の収入源があって、かつ、(ネットビジネスを)やる人が多いと思うんだけど。俺もそう。ずっとレジ打ちしてた。レジ打ちしながらコツコツ、転売とかやったりアフィリエイトとかやったりしてたんだけど。ある程度稼げるようになった時に、お客さんにビンタされたんだよね。

ともしん：えー!!! (笑) どういうことっすか!!!

だいぽん：レジ打ち間違えて。おじいちゃんがカゴにいっぱい色んな商品を持ってきて、数えるじゃん？ 1点2点3点って。その中におじいちゃんの私物が入ってたんだよ。で、俺入社してまだそんな経ってなかったし、商品全部把握してなかったから、おじいちゃんの商品を1点って数えちゃったんだよ。その瞬間にパーンてやられて。

ともしん：明らかにおじいちゃんが悪いっすよね。

だいぼん：俺なんで殴られたのかわからなくて、きよとんとしてたら、「お前は馬鹿か」って言われて。

ともしん：わしのもんやないか、みたいな。

だいぼん：店長呼べって言われて。んで店長やってきて、こいつ辞めさせろって指差して言うから、二人揃って「申し訳ありません、申し訳ありません」ってやったんだけど。その場が終わった後、よく考えたら、今暴力振るわれた俺の方が被害者じゃね？っていう。

ともしん：そうですね。

だいぼん：たしかにミスったのは悪いけど、暴力を正当化する理由にはならないじゃん。でも、結局は謝らなきゃいけないわけじゃん、雇われて。そこで、暴力振ったお前が悪いって言ったら、クビでしょ。

ともしん：そうですね。

だいぼん：だから収入維持するためには謝らなきゃいけないっていう。ああ、これが雇われるってことなんだなという考えを抱いたことがあったね。たまに上司が視察に来るんだけど、売上が悪いと店長が専務みみたいな人に扇子でひっぱたかれてるんだよ。ぱーんって。すげーいい音するんだよ。

ともしん：(笑)

だいぼん：店長はそれでも「はい、すいません」ってやってて。ああ人間じゃねーんだなって。雇われて、下の方にいる状態って、人間的なものを捨てなきゃいけないんだなって。

ともしん：人間の誇りみたいなものがね、全くない。

だいぼん：それ捨てないと、収入なくなって食っていけない。

ともしん：そうですね。

だいぽん：途中で、これはおかしいと。でも自分で稼いでなかったら気付かないんだけど、そんなもんだと思うんだけど、自分で稼げるようになると、なんで金のためにここまで自分を捨てなきゃいけないんだって。

ともしん：思いますよね。だからやっぱり、稼げた後も、そのまま稼ぎ続けようと思ってましたね。

アフィリエイトで生きていく不安はないのか(38:45)

だいぽん：不安はない感じ？

ともしん：不安はないですね。

だいぽん：正直、安定はしてないじゃん。こういう仕事。僕みたいに自動化してるならまだしも、ともしんさんの場合は、自動化というより、たとえば月に一回ちょっと働いて、商品売って稼いで、1ヶ月休み、2ヶ月休みみたいな生活を7年間やってると。多分、普通の人からしたらさ、それはなかなか怖いんじゃないかなって感じると思うんだよね。

ともしん：まあ人の心ってのは、ずーっと昔から同じじゃないですか。だからどういう言葉の順序で話せば、自分がオススメしたい商品が一番魅力的に伝わるかっていうことを、僕は勉強したので、それさえ知ってたら、別に毎回オファーした時に、ある程度これくらい売れるだろうなっていう、自分の中の目論見というか、予想みたいなものとだいたい同じくらい売れるから。もしそれが売れなくても、今回のこのオファーがダメだった。じゃあ1、2日考えて、別のサービス考えて、オファーしてみたら同じように、この順番で話せば自分の商品の魅力に気づいてくれるって流れが分かってるから、やってみる。それを繰り返す

り返していけば、いつかは稼げるんで。

だいぼん：じゃあ稼げなくなるっていう不安がないって。

ともしん：ないですね。

だいぼん：いつでも、人が商品を買う時の気持ちとか流れってあんま変わらないから。アフィリエイトのいいところって、商品乗り換えられるってのがあって。たとえば社長とか、自分で起業してやってたら、商品作っても、それが時代遅れになったりしたら、作り直さなきゃいけないじゃん。

ともしん：そうですね。

だいぼん：商品開発し直したり、市場調査して、作り直さなきゃいけないんだけど。アフィリエイトって自由に商品選べるから、商品作らなくても。だからもしその商品が売れにくくなったとか、時代遅れになってきたと思ったら、なにかしらアフィリエイトできるものはたくさんあるから。売れそうなものや売れてるものを持ってきて、売ると。多分アフィリエイト自体もなくなるらないし。

ともしん：なくならないんじゃないっすかね。

だいぼん：そう意味では安心ってのはわかるかな。

ともしん：そうですね、安心。

だいぼん：僕がともしんさんから聞いた言葉で印象的だったのが、さっきみたいに質問したことがあるんだよね。そうやって気が向いた時に売って、稼いで、その他の時期は無収入だと。そのずっと繰り返して不安じゃないの？ 怖くないの？ って聞いたら、僕らはここに金があるんですよって。

ともしん：はは（笑）その言葉ものすごい嫌味な感じですけど。

だいぽん：何もない空間を指差して、僕らここにお金があるんですよって。お金欲しくなったら、下ろせばいいじゃないっすかって。

ともしん：はははは（笑）

だいぽん：例えば、100万円の車が欲しいと思ったら、じゃあ商品売って100万稼いで、自分の口座に入れればいいじゃないかって話をしてて。

ともしん：目に見えない銀行口座があるようなもんじゃないですか。僕たちのこの、人に商品を売るスキルってのは。目に見えない銀行口座があっ
て、そのスキルを発動させれば。

だいぽん：ふふふ（笑）数ヶ月後には、

ともしん：本当にお金が入ってくるじゃないですか。

だいぽん：なるほどなって。打ち出の小槌みたいなものを持ってるともんだもんね。

ともしん：そうですね、そういう稼ぐスキルがあれば。

だいぽん：お金ほしい！ しゅっと腕を振ったら、ばーって(お金が出てくる)。確かにちょっと手は動かさなきゃいけないけど、出てくるから。そう意味では不安はないんだろうね。

ともしん：ないですね。失敗しても、アフィリエイトを一回自分がオファー仕掛けるのに何百万も金かかるとか、そういうこというんだったらもちろんリスクもあるでしょうけど、別にメール一通二通書くだけの話ですから。別に1、2時間かかるだけの話で、お金がかかるわけでもないし、なんもリスクないんで。一回失敗しても、じゃあ次のオファーって何回でもできるわけですから。

だいぽん：別に失敗したって金失うわけでもないし。

ともしん：失わないし。何回でもリスクなくオファーかけれるし。そう意味では、まあ稼げなくあることはないなって。

もっと稼ぎたくはないのか？ (44:00)

だいぼん：逆に、売れば儲かるわけじゃん。50万稼ぎたいなって思ったら、メール何通か出して、1日とか働いたら入ってくるんでしょ？ もっと稼ぎたいと思わないの？

ともしん：金がたくさんある状態ってのは、もちろん一つの自由かもしれないですけど、好きな時に自分のライフスタイルを選べるっていうことが、一番僕にとっての自由であって、価値の高いことだと思うんです。だから現時点ではそこまで。あんま物欲とかもないので、普通にのほほんって生きれたら、それが今は楽しいから。

だいぼん：まあ YouTube 見るのに金はかからないし、、（笑）

ともしん：あとギター引くのも最初にギター買えばね。あと、歌ってるだけの話ですから。ドライブするのも、別につけ麺食べるのも、大してそんなに金かかりませんから。仕組み化ってのはもちろん、頑張ればできるのかもしれないけど、多少ちょっと作業がいるじゃないですか。だから、ゆくゆくお金が本当に必要だとか、大きな額を安定して稼ぎたいっていう願いになった時には、やるかもしれないけど。一番の自由は、好きな時に好きなライフスタイルを選べるってことだから。現時点では、そんなにお金が必要だって思っていないで。

だいぼん：割と今の収入で満足してる。

ともしん：ただね、数ヶ月前にね、猫飼ってるんですけど。病気になったんで

すよ。突然ね、呼吸困難？ 死にかけたんですよ。その時にやばいってなって、病院連れていって入院何日かさせたりとか。その後も帰ってきて、レンタルする。酸素、

ルナ：酸素吸入器が必要になって。

ともしん：こんなでかいやつがあるんすよ。そういうのでね、何十万か金かかったんすよね。だからそういう時に普段1、2回だけメルマガ書いているのを、4、5回とかにして。

だいぼん：ははは（笑）

ともしん：その時はちょっとお金必要だったんでね。いつも3、40万必要なのが、その時は6、70万くらい必要だったんで、その日は多く仕事しましたっていう。だから、選べるから、自分で。

だいぼん：将来、家欲しいと思ったら、もしかしたらそうやって働くかもしれないけど、

ともしん：うん、何百万のものがいるようになったら、その時は考えますけど。現時点では、今の生活が不満とかないので。

だいぼん：ルナちゃんも今の生活で、特に不満ない？

ルナ：そうですね。あたしが元気になってきたので、多少は仕事も頑張りたいって気持ちもありますけど。彼を見てると、あたしもそうなんですけど、音楽二人とも好きなんです。あたしたちが好きなアーティストって結構お年を召されてる方が多いので、今しか聞けない。今すぐにかかないってというのが。

ともしん：ライブ見に行ったりとかね。

ルナ：すごくいい状態のアーティストさんが一人いらっしゃるんですけど。

もう今までの人生の中で、その方の音楽聴いてたら、今が一番いいんですよ。じゃあ今行くしかないんですよ。

だいぼん：確かに。

ルナ：だから仕事してたらね、その機会を逃すわけですよ。絶好の乗り具合というか。やっぱりお金を得て、権力を得ることが目的じゃないじゃないですか。自分らしく生きて、自分が感動したり、生きていく中で、死んだ時に持っていけるものって、どれだけ楽しく生きれたかっていうことであって。お金が1億とか2億とかあっても、そういう稼げる能力があるってことは素晴らしいことだと思うんですけど、多分今から稼ぐのと、その人のライブ見れないのと、どっち選ぶって言われたら、多分彼もそうだと思うけど。

ともしん：まあ、そうですね。

ルナ：その人のライブを見に行きたい。

ともしん：今しかないからね。

ルナ：今しかない。

ともしん：今脂が乗り切った状態はね。そういう意味で、好きなことを優先してるっていう。

だいぼん：自分のやりたいことに忠実に生きてるってことだよな。

ともしん：そうですね。

だいぼん：自分のありたい姿というか。結局、すごいお金稼いでも、幸せそうじゃない人っていっぱいいるからね。社員とかたくさん抱えて、いつもプレッシャーでね、必死になってる人とか。

ルナ：彼のコンサルにも、すごい稼いでるのに楽しそうじゃない人がいるわけですよ。アフィリエイトの世界でも、彼によく聞く話ですけど、クライアントさんの中に、稼いでいかなきゃいけないっていう、変な使命感に囚われている方とかいらっしゃるんです。やっぱりそれじゃ稼げてもしゃあないと思うんですよ。そもそもアフィリエイト始める時、自分らしさってのを目的にした時に、真に幸せになれるんじゃないかってのがあって。

だいぽん：結局稼いでも、何にもすることがない人もいるからね。稼いで暇で、お金はあるんだけど、やることないって言って、ごろごろして、不満感の多い人生を送ってる人とか。どうでもいいことにお金使って虚しいみたいなの。

ともしん：そうですね。

だいぽん：そういう意味ではね、多少収入が少なくなっても、例えば年収1億で何もすることなく暇してる人と、年収1000万、2000万で好きなことばかりやってる人だと、どっちが人生幸せかって言ったら、100%好きなことやってる方だから。

ともしん：自分が楽しいって感情を最終的に求めているわけですからね。大きく金稼げたから嬉しいじゃなくて、稼げて自分は幸せだって。その幸せだっていうところを優先しているっていう。

周りとの温度差を感じるか？ (50:22)

だいぽん：そういう生活してると、たとえばルナちゃんはお友達とかいるわけじゃん？ 友達になんか言われたい？ 異常な生活だよ、外部から見ると。旦那がずっと家にいて動画を見てるし。ルナちゃん自身も忙しくやってるわけでもないし。

ルナ：ちょっとどうしよっかなって思ったのが。友人が家に来た時に、今日も

サービス残業で旦那さん帰ってこないし、彼女自身、仕事してた時は、その方教師だったんですけど、午後 4 時くらいに上がれるはずなんですけど、10 時とか 11 時になってしまう、とかって言われた時に、ちょうどあたし、(アフィリエイトの)マニュアル売ってたんですよ。売ってて、今その話をしてる間に、ポポポソソって上がっていくから、

だいぽん：売上が？

ルナ：そうですね。だからどう言ったらいいのかっていうのは、多少戸惑うところもありますね。

だいぽん：確かにわかる。僕も稼ぎ始めた頃、大学時代の友達と話してる時、みんな就職してるわけだよね。俺はこういう仕事してると。友達とかは、会うとやっぱ仕事の愚痴とかが出るじゃない。若いうちって安い上にこき使われるし、忙しいし。こんな大変なんだよって暗い話をしてる時に、携帯ばってみたら、その人らの月収分が入ってて。

ともしん。ルナ：ああ。

だいぽん：そういう状態の時って、何も言えなくなるよね。

ともしん、ルナ：そうですね。

ルナ：どう対応したらいいかなって戸惑いはありますけど。好きな仕事で、それでもやってるんだって方は、もちろん素晴らしいし、羨ましいなって思いますよ。それはすごいことだなって思うんですけど。

だいぽん：要は、満足できてるかどうかだもんね。

ともしん：そうそう、人生はね。

ルナ：だからあたしが思うのは、おかしいなって(私たちが)見られてるだろう

けど、

だいぼん：どっちがおかしいんだって話もあるんだけどね。

ルナ：そうですね。異常だなんて思うこともあるし、病んでいってるのが見えてるのに、なぜそこに縛られなきゃいけないのかなってのもありますし。あと昔、あたしには全くなかったものが、今あるので、他人と違うことがいけないことって思わないようになりましたね。

だいぼん：まあ別に、異常でも幸せなんだもんね。はたからみたら異常な生活でも。

ともしん：悪いふうには異常じゃないですからね（笑）

だいぼん：迷惑かけるわけじゃないからね。

ともしん：激烈にいい異常ですからね。

パートナーが起業してよかった事 (53:50)

ルナ：旦那さん、何してるのってよく聞かれますけど。あたしがありがたいなって思ったのは、昔は家庭環境が悪かったんで、愛情ももらえなかったし、団欒の時間もなかったわけです、家族団欒とか。温かみってことが全く分からずに育ったんですね。でも、アフィリエイトを彼がしてくれることで、今皆さんが普通に働いてらっしゃると、忙しくて結婚したにもかかわらず、一緒にいる時間が寝てる時間だけとか、そういう方もいらっしゃるわけじゃないですか。そんな中、お母さんとの時間があって羨ましいって思ってたような時間が、全部取り返せたってのが、アフィリエイトってすごいなって思いましたね。あたしの環境じゃ、ほぼ社会に出ると就職してかなきゃいけないし、就職したらそこで、

だいぼん：ちょっとスレ違いというかね。

ルナ：向き合える時間も少ないのに、(アフィリエイトなら)取り返せるっていう。どんな辛い状況でも自分らしさを取り返せるっていう意味で、アフィリエイトはすごいなって思うので。まわりから変な目で見られたとしても、、

だいぼん：どうでもいいと。

ともしん：そんな関係ないと。

だいぼん：結局ね、普通だって思われて不幸な人生を送るよりは。他人の目なんて意味ないから。他人は他人だから。他人がいいと思ってても自分がダメだったら何の意味もない。

ルナ：視野も広がるし、面白い人にどんどん出会えますよ

ね。ともしん：それはそう！

常識が正しいとは限らない (56:05)

だいぼん：どっちが異常かっていったら、僕は異常なのはむしろ、嫌だ嫌だって愚痴りながら、ずっと辛い思いして、それが当たり前だと思って生きてる方が異常な生活だと思うけどね。

ともしん：僕もそう思いますね。大多数の人がしてる＝それがいいことって、絶対ないですからね。この世の中で、だいたい人間が朝から晩まで苦しく働いて、しかもそれが汗水垂らして稼いだ金が素晴らしいことだみたい。そういう価値観を植えつけられて、皆がそういうもんなんだろうって思いながら、でも辛いなって思いながら生きてるっていう人が多いですけど。それは勝手に植

えつけられただけの価値観であって、本来の人間としての、楽しい、今僕は生きてるんだ、そういうことを求められない人生の方がほんとは辛い。そういう人生もあっていいというか、楽しいっていう人生があってもいいじゃないかってことですよね。

だいぽん：選べばいいんだよね。

ともしん：そうそうそう。どっち選んでもいいんですよ。

だいぽん：忙しさの中に、幸せを見出す人もいるから。

ともしん：好きなことで忙しかつたらね、それでいいし。

だいぽん：でも僕らみたいだね、わりかし自由に好きなことだけやって、自分に忠実に生きて行くこともできると。今出来るようになってるからね、そういうこと。

ともしん：今の時代はそうですよね。

だいぽん：ネットなかったら、僕らどうしようもないじゃないですか。（笑）

ともしん：たしかに！（笑）まあ売るスキル、稼ぐスキルがあったとしても、一応ネットがなければ、

だいぽん：学ぼうとしなかった。

ともしん：それはね！

ルナ：そういう意味では、アフィリエイトを勉強するってことは、万が一ですけど、ネットの世界がなくなっても、人が欲しくなる心理とか状況とか状態とか、オファーのかけ方って分かっているから、それが本当は真の安定だと思うんですよ。

だいぽん：よく、もしゼロになったらどうしますかって聞かれるんだけど。いま仕組みとかなくなって、人脈とかもなくなってお金もなくなって何も無くなって、もうどうするんですかって聞かれたら、知識さえあれば、

ともしん：そうですね、同じこともっかいやりゃいいだけの話ですからね。

だいぽん：僕らもう、商品売るとか、人の興味ひいて集めるとかっていうのは、アフィリエイトで学べたから。やろうと思えばできるじゃないですか。

ともしん：できますね。

だいぽん：だからそういう意味では不安もないし、最悪、僕ら就職もできると思うんだよ。その辺の学生とかね、「私やる気あります！」とか言ってる横で、たとえば僕らだったら、御社のこの商品ネットでこっだけアクセス集めて、こういう成約率出す仕組み作れますけど、どうですか？ って言ったら、どっちを雇うよ？

ともしん：そうですね、どう考えてもそうです。

だいぽん：僕らどちらかっていうと経営側だから、どっちが欲しいかって言ったら、

ともしん：即戦力ですよ。

だいぽん：即戦力でしょ。

ともしん：そりゃそうです。

だいぽん：僕らできるわけじゃん。

ともしん：やる気なんかなかろうが、稼げいでくれればそれでいいんすから。

だいぼん：そうです。利益を出してくれればいいんですから。

ともしん：やる気なんてどうでもいいんです。

だいぼん：そういう意味でも安心はあるし、

ルナ：友達とかにも、変わりやすいから廃れていくんじゃないの？ 安心できないんじゃないの？ って言われるんですけど、逆に売り方とか、人の核になる部分を知らずに、ある日リストラされてしまったりとか、そっちの方が怖いと思うんですよね。わたし的には。だから安定って何だろうなって考えた時に、やっぱり自分で稼ぐ能力。

だいぼん：市場相手に何か価値を提供して、対価を得るってことだよな。多分多くの人って安定を勘違いしていて、安定ってのは毎月決まった給料が口座に振り込まれる状態だと思ってる。だから公務員とかはその可能性が高いじゃん、あんまり増減もしないし、突然クビ切られるケースもほぼないじゃん。だから一番安心なのは、大企業か公務員だっていって、殺到するわけだよな。それが本当に安心安定かって言ったら、それで収入失う人もいっぱいいるし。たとえば、事故ったら終わりじゃん。交通事故に遭いました、足腰立たなくなりました、それまで通りの仕事ができるのか？ ってことだよな。

ともしん：だしかに。

だいぼん：いい会社勤めててもね、上司がすごい嫌なやつになっちゃったと。めちゃくちゃ叱られたとか、あるいは左遷させられたとか。それで結局自分の人生灰色じゃん。それで安定もクソもないじゃん。

ともしん：安定して悪い状況にいつてるってことですよな。

だいぼん：悪い状態を安定させるっていう人がたくさん。

ともしん：それはおかしいですよ。

ルナ：もし月々(給料を)もらうことが本当に安定だったとしても、企業側は動かしやすいじゃないですか。だからメリットはいうけど、安定して辛いこともあるってところに、同じくらい視点を向けてないというか、盲目というか。同じくらいに視点を向けた時に、悪い上司がいて、そこで鬱になって自殺してしまう人もいるわけじゃないですか。それも安定、

だいぼん：うん、安定した結果だね。

ルナ：メリットだけを見るんじゃないくて、メリットデメリットを見た上でやっぱりそのメリット取りたいっていうなら、何にも言えないですけど、

収入の安定は捨てていい (1:00:30)

だいぼん：給料の安定とかって正直捨てていいですよ。本当に追いかけなければいけないのって、幸せじゃん。幸せに自分の一回の人生を送れるかどうかで、給料が安定してても、それが毎日辛くて死にそう、不幸だったら、何の意味もない。

ともしん：何の意味もないですよ。

だいぼん：不幸な状態を固定させるっていう安定だから、そういう場合は安定させちゃだめなんだよね。

ともしん、ルナ：そうですね。

だいぼん：今不幸だったら変えなきゃ、変わらなきゃいけないから、安定させてる場合じゃなくて、変化を求めなきゃいけない。めちゃくちゃ幸せだったら、ともしんさんとかルナちゃんみたいに、自分に忠実に生きれてる、やりたいこ

とを思いっきりやれて今幸せだって状態だったら、初めてそれは安定させればいいと思う。

ともしん：一旦崩さなきゃいけないですからね。安定してしまっているその状態を。多くの人がリスクを考えるでしょ？

だいぽん：仕事やめちゃったらとかね。

ともしん：そそ。でも歩くってのも、前に一步進むってのも、前に進もうとした時、片方しか足付いてない状態だから、確実に二つで立ってるより危ない状態だよ。でもその危ない状態があるからこそ、前に進めるわけですよ。

だいぽん：そうだね（笑）

ともしん：いいこといったでしょ、これ！ それがないと前には進まないんですよ。普通に勤めるってことは、ずっと辛いところにじーっとしてることなんです。

だいぽん：そうだね。

ともしん：リスクがどうだって、そりゃ当たり前なんですよ。あるんですよ、そんなもん。でもそれを認識した上で、その先にある一步を、前を見るよと。

だいぽん：なるほど（笑）

ともしん：そんな気が、うまくたとえれたかわかんないけど。

だいぽん：わかる。

ともしん：わかります？ ちょっとそれをもっかいってください。（笑）

だいぽん：結局、同じ場所についたら安心だと思ってるわけでしょ？

もしかしたら、雪崩が迫ってきてるかもしれない。土砂崩れが起きて、ちょっとずつ迫ってきてたりとか。ちょっとずつ地盤が緩んでるかもしれない。でもずーっと、とにかく動かないで、今の状態を維持してるように見えればOK って立ってる人がいっぱいいるわけじゃん。変化を恐れて、とにかく我慢我慢やってるわけでしょ？

ともしん：そうですね。

だいぽん：それは安心どころか、自殺行為なケースもあるわけじゃん。結局立ってるのも、よく見たらリスクの可能性だってあるよね。だからもしね、幸せじゃないんだったら、動いたほうがいいんですよ。

ともしん：動いたほうがいいんですよ。

だいぽん：どっちもリスクだからね。

ともしん：動いて歩いたら、どっか躓くんじゃないですか？ そりゃその可能性はありますけども、ただ立っててもリスクはあるんですと。

だいぽん：立ってる間に人生終わっちゃいます。

ともしん：だから好きな場所に歩きましょうよって。それは言いたいですけどね。

だいぽん：雨あられが降ってきてるところにずっと立って、痛い痛いと思って、人生終わっちゃったら、それって最強のリスクじゃん。

ともしん：そそ、ほんの少し歩いたら雨がやんでるところがあるのに。

だいぽん：一回の人生が我慢してたら終わるってことでしょ。それはもうリスクだってことは考えたほうがいいかなと思いますね。

アフィリエイトを知っている事の可能性 (1:06:00)

ともしん：僕自身もメールマガジンとかでたまに言いますけどね、アフィリエイトとかネットビジネスとか、そもそも今の時代だからちょっとずつ有名になってきてるかもしれないけど、常識的には知らない人が多いじゃないですか？知らない人もたくさんいる中で、なおかつアフィリエイトを知れたと。で、知れてなおかつ、その情報を自分から探して、まあこれ聞いてくださってるってことは、自分で探して、めちゃ興味持ってるってことじゃないですか。アフィリエイトの存在を知ってもなお、そんな中から調べるってことは、めちゃくちゃ少ない人だと思うんですよ。これで頑張ってる、成果が出れば、僕たちのような楽しい生き方ができる可能性があるわけで。本当にもし今稼げてなくても、ネットビジネスの存在を知ることができて、なおかつそれを自分で調べてここまできて、この動画を見てる。それだけで、だいぶ限られた人間、選ばれた人間なんですよ。稼げてなくてもですよ。その中で、あとほんの少し、あとちょっと前に踏み出す勇気があるだけで、もしかしたらこういう僕たちみたいになれるかもしれない。稼げてない今だけ特別だって、だからもうちょっと頑張ろうよってことを、たまにメールマガジンで言うんですよ。

だいぽん：なるほど。

ともしん：これええことゆってるでしょ！

だいぽん：ええことゆってるね（笑）

ともしん：だからほんとにね、勤めることをやめることのリスクが目についたら、好きな仕事じゃなかったら、もう一歩二歩この動画を見てね、やるぞって気持ちになってくれたら嬉しいですよ。

だいぽん：いいことゆう。

ともしん：うまいこと締めれた！なんかありますか？

ルナ：そうですね、彼が言うように、こちらをご覧の方たちは選ばれた方だと思うんですよね。出会えずに死んでいってしまう方もいるので、

ともしん：圧倒的に多いわけですよ。

ルナ：自殺したりだとか、

ともしん：(笑) いちいちキーワードが暗いねん！(笑)

ルナ：(笑) 暗いですけど、すいません(笑) 本当に選ばれた方だと思うんですよね。そういうことをまず、感じていただきたいということと、アフィリエイトで稼ぐということは自分らしく生きられる可能性もあるし、市場に出た時に自分がどういう風に売っていったらいいのか、揺るぎない力とか、誰にも奪うことのできないような経験ができると思うんですよ。この二つを学べる、しかも低予算でって、アフィリエイトだからなんですよ。なので、すごい夢のある世界だと思うので、自分らしく生きて、しかもリアルだったら初期投資100万200万かかるものが、そんなものかからずに10、20、30万目指せたりとか。すごい世界だと思うんですね。どんな苦しい所にも、逆転できる可能性があって。

だいぽん：僕らもある意味、底辺みたいなもんだったもんね。

ともしん：最初はね、本当に辛かったですから。

だいぽん：まあ、今苦しい状況にいるってことはラッキーなことだよな。

ともしん：そうですね、なんか変わらなきゃいけないって思えるのは、ある意味ラッキーなんですよね。わかりますそれは。

だいぽん：そこそこ満足できてる人は絶対変わらないよね。

ともしん：多分アフィリエイトを知っても、へえーそんなんあるんだって、調べないと思うんですよね。

だいぽん：いいねーって言いながら、会社に行って、ああ疲れたって土日待って生きてる人がほとんどだと思うんだ。僕ら変わらなきゃいけない理由があるってのは、逆に言えば、自由への切符を手に入れた。

ともしん：考え方一つですよ。そう思います。

だいぽん：僕の元にも、そういう稼ぎ方って非常識、異常じゃん？ パソコン一つで、僕らみたいな若造がアホみたいに稼いで、自由なことやってるって、多分、腹立つのもあるし、どうせ詐欺だろとか否定してくるんだよね、自分の価値観で。どうせ悪いことやってるんだろって、嘘だろって。そういうのって、結局自分の首を絞めてるっていうか。シャットアウトした時点でその人にそういう世界はないわけで。自分のちっちゃい価値観の中で生きていくしかなくて。でもそういう世界があるってことを知ってるだけでも、ちょっと調べてみるだけでも、人生って選択肢が広がるじゃん。価値観広がるじゃん。色んなことに気づけるから、そういう意味では、変化を恐れないでほしいと言うか、試してみるってことかな？

ともしん：そうですね。

だいぽん：やらずにうだうだ言う前に、試してみて欲しいなってのはあるかな。

ともしん：あと一個ね、僕が落ち込んでるコンサル生に話して、その発想がなかったです、すごいいい考えいただきましたって言われた言葉があって。その人も辛い状況だったみたいで。僕が辛かった時、稼ぐ前とかどうやってモチベーション上げてましたかって言われた時に、僕客観視をするくせがあるというか、ものすごい辛くてギリギリだった時に、これがもし僕が主人公のドラマだったら、ドラマって視聴率が上がり下がりするわけでしょ？ 一番視聴率が高

いってことは、一番面白い部分なんです。てことは、視聴率が一番高いところって、ドラマの中でいえば、主人公がめっちゃめっちゃ試行錯誤してるそこだと思っんですよ。僕辛かったんですけど、ぱっと客観的に考えた時に、今一番辛いってことは、これ俺が主人公だったら、一番視聴率が高いところなんやなって思ったんすよ。一番ドラマとして面白い、旨味のあるところなんやと。これはドラマやったら、絶対大逆転あるぞって。これは頑張るしかないって。ふらふらになりながら思いましたね。だから今辛いと思ってる方もいるでしょうけど、一番あなたの人生の視聴率が高いところなんです。僕らみたいな軸になってもうたらね、楽しんでるところなんて、ドラマだったらおもしろいんですよ。

だいぽん：僕らはガンていうギャップはないわけじゃないですか。

ともしん：そそ、ないないない！

だいぽん：こっから 100 万が 1000 万だろうが、1000 万が 1 億だろうが、もうマイナスがプラスになった時のインパクトほどはないからね。

ともしん：もうエンディング、自分でいうのもなんだけど、楽しいところ終わってるわけですよ。だからあなたたちは今からだから！ぜひやってくれ！ってことを言いたい。

だいぽん：偉そうだな。（笑）

ともしん：ごめんなさい、いま敬語じゃなかったすけど（笑）ぜひ頑張ってください。

だいぽん：という感じで、熱い二人でした。ありがとうございました。

ともしん、ルナ：ありがとうございます。